

火災時の安全について

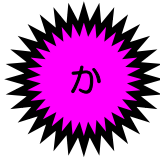
区分：Ⅲ―①

①集団で非難するときの約束を確認しましょう。

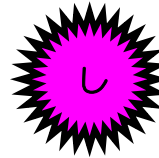
命を守るための行動…
真剣に取り組もう！



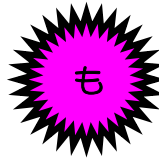
さない。



けない。



ゃべらない。



どらない。



かよらない。

②調布市の避難場所、避難経路について、災害時、どのような動きをするのか家族と話し合っておきましょう。



←調布市防災マップ

※調布市 HP よりダウンロード
できます。

③火災の原因と危険、知っていますか？

Q 住宅火災の出火原因（令和5年）の第1位は、次のうちどれでしょうか？

A：ろうそく

B：コード

C：こんろ

D：たばこ

●住宅火災の出火原因（令和5年）…2位「たばこ」、3位「電気機器」

思わぬところに原因が… 住宅火災ここに注意！

たばこ	こんろ
 死者発生原因第1位！ ☑ 寝たばこは絶対にしない ☑ 飲酒→喫煙→うたた寝に注意する ☑ 吸殻を灰皿にためない ☑ 吸殻は水で完全に消してから捨てる ☑ 火種を落とさないよう安全な場所で喫煙する	 調理中の使用放置や 着衣への着火に注意！ ☑ 調理中に離れない ☑ 周囲に燃えやすいものを置かない ☑ 防災品のエプロンやアームカバーを使用する ☑ 火が鍋底からはみ出さないように調節する ☑ 安全機能(Siセンサー)付きこんろを使用する
ストーブ	コード
 ストーブの中で 最も多いのは、電気ストーブ！ ☑ 周囲に燃えやすいものを置かない ☑ 外出時や就寝時は必ず消す ☑ 給油は必ず消してから行う ☑ ストーブの近くで洗濯物を乾かさない	 身近に潜み、 知らぬ間に出火！ ☑ 使っていないプラグは抜いておく ☑ プラグ、コンセントは定期的に掃除する ☑ 家具などの下敷き、折れ曲がりに注意する ☑ タップは決められた容量内で使用する ☑ 束ねて使用しない

④火災に対する心構え

住宅防火10の心得

1 調理中は、こんろから離れないようにしましょう。

住宅火災の出火原因で1番多いのは、こんろによる火災です。

6 コンセントの掃除を心掛けましょう。

湿気の多い場所にあるコンセントに、ほこりがたまっていると、火災発生の要因になる場合があります。

2 寝たばこは、絶対にやめましょう。

たばこの不始末による火災で死者が多く発生しています。

7 住宅用火災警報器を設置し、定期的に点検しましょう。

住宅用火災警報器は、すべての居室・台所・階段に設置しなければなりません。

3 ストープの周りに、物を置かないようにしましょう。

ストープに可燃物が接触し、火災が多く発生しています。

8 寝具類やエプロン・カーテンなどは、防災品にしましょう。

防災品は、火が接しても着火しにくく、燃え広がるのを防ぎます。

4 家の周りを整理整頓しましょう。

放火予防のため家の周りに燃えやすい物は放置しないようにしましょう。

9 消火器を備え、使い方を覚えましょう。

消火器などでの初期消火で火災による被害が大幅に軽減されます。

5 ライターやマッチを子供の手の届く場所に置かないようにしましょう。

火遊びによる火災は毎年100件を超え、子供の死者が発生しています。

10 ご近所一緒に火の用心しましょう。

火災を発見したら、大声で周囲に知らせ119番通報しましょう。

⑤安全な行動の仕方

「逃げよう、守ろう、その命」

～火災から命を守る6つのSTEP【自宅編】～

毎年、住宅火災で多くの方が亡くなっています。火災から命を守るためには、**早めの避難**が非常に重要です。過去10年間（平成23年～令和2年）の火災による死者の発生経過は**逃げ遅れによるものが全体の約7割**となっており、負傷者の発生原因は、**煙を吸ったこと、火災にあおられたこと及び着衣着火**によるものなどが多くを占めています。

もし**火事**になったらどうしますか？

住宅用火災警報器が鳴動

STEP1 まずは、火元の確認

火災確認

避難可能時間はほんのわずかなので早期の避難を要一に！

STEP2 消火できるか判断

できない

STEP3 周りに知らせながら消火器等で初期消火

できた

STEP4 避難

できない

STEP5 窓、ベランダ等、外気に触れる場所への避難（救助を求める）

できた

STEP6 119番に通報する

日頃の備え
煙等で玄関から出られないこともあることから2方向以上の避難経路を考えておくこと。
窓、ベランダ等

⑥初期消火

初期消火の流れ

① 火事を知らせる

非常ベルを押す
非常

消防署に電話する
119

大声を出す
火事です！

② 消火活動

火が天井まで昇っていない
3分以内

自分のできる範囲で協力する

③ 現場から避難する

人命第一